



# 兵庫青野原だより

独立行政法人 国立病院機構 兵庫青野原病院

夏季号 (第76号)

平成27年7月

〒675-1350 小野市南青野  
TEL 0794-66-2233



【青野原病院の風景】 撮影者 庶務係長 永井 敦雄

長らくこの地にあった青野原病院も8月30日をもって移転となります。  
いろいろな思い出を残す病院の姿を撮影しました。

あおの保健室	院長 栗栖 茂	2
兵庫青野原病院の歴史に私の人生もあり	第1病棟 吉田 百合子	2
青野原の思いで	企画課 江藤 江利子	3
盛り上がったリフレッシュ研修	教育担当看護師長 倉元 芳枝	4
第20回「障害者と高齢者の摂食・嚥下、口腔ケア支援講座」リハビリテーション科	藤岡 利幸	5
病院移転について		7
外来診察・検査担当表		8

## あおの保健室

院長 栗栖 茂くりす しげる

当院では陸上自衛隊青野原駐屯地で毎年5月に開催される駐屯地創設記念行事の際に「あおの保健室」と銘打ってブースを出し、来場者の健康チェックやナースのコスチューム試着など市民向けの啓蒙活動を続けてきましたが、平成19年以来継続されてきた当院のこの活動に対して、去る5月24日に執り行われた創設39周年記念祭において川野静生駐屯地司令から病院に対して感謝状の贈呈を受けました。



当日は雨天の予報でしたが幸いにも好天に恵まれ、対空ミサイル、戦車、ヘリ



コプターなども参加して盛大に記念祭が執り行われる中、地域の防衛協力会や行事アトラクションに毎年出場の女子大チアグループ等と共に当院が表彰の榮譽に輝いた次第です。

当院は元々旧陸軍青野原戦車聯隊付属の傷痍軍人療養施設として設立されたという歴史のご縁もあり、また市民の間でも「あおの保健室」は毎年たいへん好評を博していますので、新病院に移転して病院が青野原の地を離れた後も、今後とも末永く「あおの保健室」は継続させて頂ければと希望する次第です。

## 兵庫青野原病院の歴史に私の人生もあり

第1病棟 吉田 百合子よしだ ゆりこ

今回の病院移転にあたり、何かコメントをと言われ色々思い起こしてみました。病院の歴史はこの青野原の大地の上にあります。結核の療養所として開設、結核患者様が療養されておられ、外科手術もどんどんされていました。そして結核の特効薬の出

現とともに、外科手術も減り結核患者も減少していきます。その頃に重心児病棟が併設されました。近隣の人々の意識も変化していきます。初めは結核療養所で怖い所であると・・・結核が治る病気と認識され始めてからは、一般患者さんの診療も開始。一

時は近隣の住民が青野原病院でないとダメだと患者様が押し寄せて、近隣の病院へ脅威をはなっていました。そんな青野原療養所時代から私の看護人生が始まります。父親の一言から・・・これからは女でも外の釜の飯を食べて手に職を持つ・・・この言葉から私は青野原療養所の准看護学校に入学・卒業・就職・働きながら高校に通学、その頃にこの私を人として看護師として育てて頂いたと思っています。そして進学のため青野を離れます。都会の生活にあこがれて大阪で看護師として就職して、当時の最先端医療を経験しましたが、結婚を機に青野

原病院に転勤で戻ってきました。戻ってきたら青野原療養所もきれいに建て替わり、働きながら育児ができるように保育園まで開設されていました。私は働きながら子供の育児をし、主人の両親、私の父親もこの病院で天寿を全うしました。そして私はここ青野の大地で定年の年に移転となります。公私ともにお世話になり私の人生は青野にあり！！本当にありがとうございました。これからは兵庫あおの病院として、新天地で新たな幕開けとなりますが、患者様、職員の人生に寄り添う素敵な病院を目指してください。

## 青野原の思いで

企画課 江藤 江利子

病院の建て替えが決まってから長く感じた工事も完成を迎え、新病院への移転が近づいてきました。

今から約42年前、私が就職した最初の事務所は古い木造の2階建てで、現在の4階建ての宿舎が建っている場所がありました。その2年後に現在の本館が建ち、ピカピカの新館で仕事ができることがうれしかったのを覚えています。

ちょうどその頃に私は結婚をし、病院の敷地内にある戦後間もなく建ったらしいボロボロの1号官舎で新婚時代を過ごしました。その古～い官舎で10年を過ごす間に生まれた2人の子供は院内保育所でお世話になりました。その保育所は今のパステルカラーの保育所ではなく、私も知らない昔の7病棟を改装した保育所でした。長女が名誉ある(?)保育所開設

第一号の保育児です。

私が過ごした40有余年の間には、戦時中は将校さんの集会所だった建物でのクリスマスパーティー、駐車場での夏祭り、テニスコートでの職場対抗バレー大会、あおのホールでの卓球大会、当時の人気者だった小錦関が慰問に来られたり、国立病院創立50周年の行事に沢山のお客様を招く準備が大変だったりしたことを思い出します。

私にとって、人生の大半を過ごした青野原の台地を離れることは寂しくはあります。しかし、新病院での勤務は私にとって3ヶ所目の職場になり、当院で合計3ヶ所の事務所で働ける数少ない職員だと光栄に思い、移転までの残り少ない日々を愛おしみながら過ごしたいと思えます。



## 盛り上がったリフレッシュ研修 教育担当看護師長 倉元 芳枝

平成 27 年 5 月 16 日（土）にあおのホールで、プリセプティ（新人）11 名・プリセプター 9 名が参加してのリフレッシュ研修＝大運動会を行いました。赤・青・黄の 3 チームに分かれ玉入れから始まりリレーで終わるハードな内容（プログラム参照）と、進行役の思いつきで競技内容が追加されるという過酷？な中にも笑いあり・涙ありの楽しいひとときを過ごすことができました。勝負事となると力が入るのか、白衣姿では見られない意外な一面をたくさん見ることもできました。



昼食は朝から準備したカレーライスです。2.5Kg の鶏肉に 5Kg のタマネギ・ジャガイモ、7 本のにんじんを調理し、カレーのルー 5 箱を使用し大量のカレー（約 30 人以上）ができあがりました。参加者からの評判もよく、ほぼ完食という状況でひと安心でした。

その後の交流会では、病棟・プリセプター・プリセプティの枠を越えて普段話せない話しや病棟の雰囲気の違いなどを感じることができ、親睦が深まったように思います。

お昼からは病院正面玄関の血圧測定器横に飾るウェルカムボードの作製です。

何を作ろうか迷った結果、プリセプティは自分たちのことをたくさんの人に知ってもらいたいということで、それぞれの似顔絵入りの自己紹介となりました。



プリセプティ（新人看護師）

プリセプターは 6 月の季節が感じられる“あじさい”と、いま一番大事にしたい“きずな”をメインにした作品ができあがりました。それぞれが一致団結し、協力しながら短時間で素敵な作品になりました。外来患者さんからの評判もよく 7 月からも継続して行う予定です。

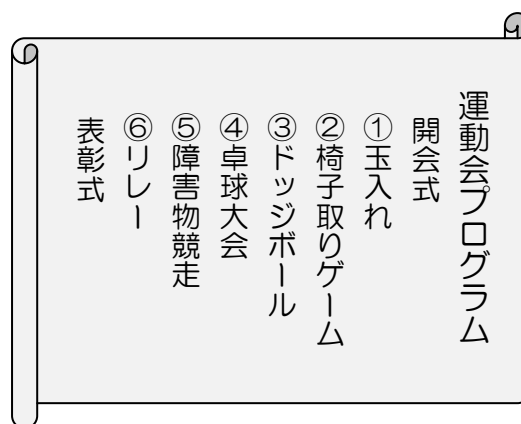


プリセプター（先輩看護師）

今までと違う趣向で行ったリフレッシュ研修でしたが参加者から「ころもからだもリフレッシュできました。」「久

しぶりに体を動かし良い汗をかきました。団結力が深まったように思います。」などの感想もきかれ、あっという間の一日になりました。後日談ですがほぼ全員が筋肉痛になったと聞き、日頃から身体を動かすことの必要性を感じました（笑）

最後にリフレッシュ研修を行うにあたり、たくさんの協力をいただき本当にありがとうございました。



## 第 20 回「障害者と高齢者の摂食・嚥下、口腔ケア支援講座」

言語聴覚士 藤岡 利幸 (ふしおか としゆき)

去る平成 27 年 6 月 18 日(木)、当院あおのホールにおいて、第 20 回「障害者と高齢者の摂食・嚥下、口腔ケア支援講座」が開催されました。今回も、北播磨地域の医療・介護・福祉関連施設から、多くの方々にご参加いただきました。ありがとうございました。今回の講義テーマは、「日々の仕事の中でできる摂食・嚥下への援助について」でした。その内容の一部を、ご紹介させていただきます。

### \* 嚥下障害とは

食べ物や飲み物を飲み込むことを“嚥下”と言います。通常、食べ物や飲み物は、食道へ一気に流れていきます(→スライド1)。

嚥下障害があると、食べ物や飲み物が誤って気管の方へ侵入してしまうことがあります(→スライド2)、肺炎を起こす原因にもなります。こういった障害は、脳卒中の後遺症として起こることが多く、嚥下と深くかかわる神経や筋などに問題が起こることで生じます。

\* 水分でむせる(トロミのないお茶で“むせ”

がある場合)

水分を飲む時に“よくむせる”というのは、摂食・嚥下障害を疑う症状のうちのひとつです。お茶や味噌汁のような液体は、ノドの中を流れるスピードが速く、誤って気管の方へ入りやすくなります。その結果、むせてしまいます。トロミを付けることで、ノドの中を流れるスピードがゆっくりになり、ムセを軽減させることができます。

トロミ濃度の調整例(評価方法)を紹介いたします。まずは、お茶100mlに対して増粘剤(トロミの粉)小さじ1杯の濃度を基準として試します。その濃度における嚥下の様子やムセの有無によって、濃度を調整していきます。(→スライド3)。

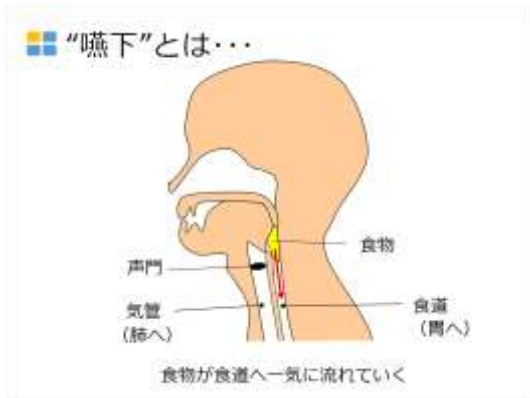
### \* 日々の援助の中で…

専門書で紹介されているようなリハビリを行うことができなくても、医療・介護・福祉の現場で日々行われている援助の中には、実は、摂食・嚥下機能の維持・向上につながっていることがあります。例えば、会話・歌唱・

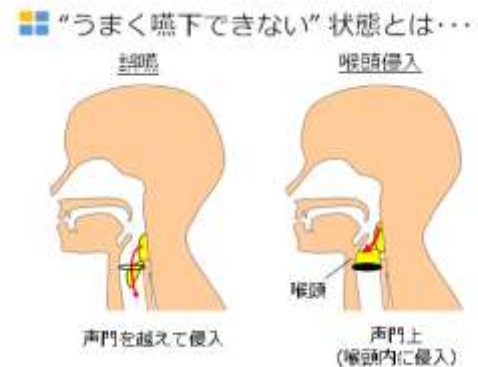
レクリエーション・散歩などは、専門書に書いてあるようなリハビリと同じ効果が期待できません(→スライド4・5)。

講義の中では、他にも「ノドの機能」・「食事姿勢」・「食事介助における知識と技術」・「開口困難な人への対応例」などのお話をさ

せていただきました。講義の後のグループディスカッションでは、日々の援助の中で工夫されていることや、日々の取り組みの様子など、活発な情報交換がなされました。これらの内容については、次号で掲載する予定です。よろしくお願いいたします。

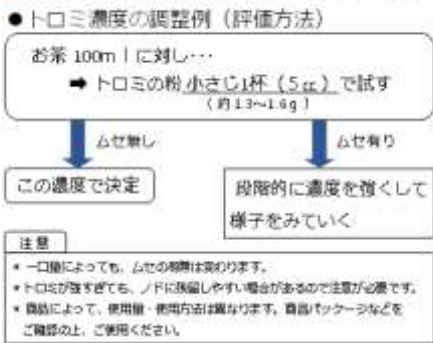


スライド1



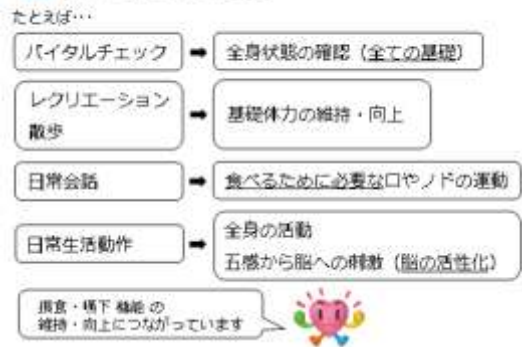
スライド2

■ トロミのないお茶で“むせ”がある場合…



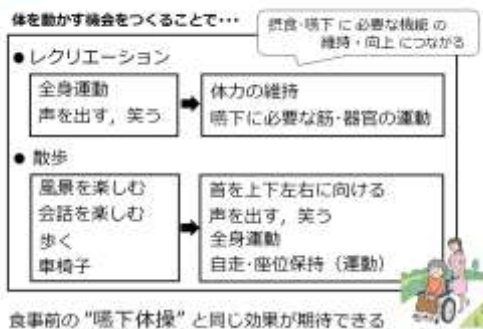
スライド3

■ 日々の“援助”の中にも…



スライド4

■ レクリエーション・散歩



スライド5



## 病院移転について

---

平成27年6月17日「兵庫あおの病院」が完成し、建築事業者から引き渡しを受けました。まだ、全ての作業が完了したということではありませんが、これをもって大きな一区切りがつかしました。

今後、8月30日に病院移転を行い、診療を開始するために、物品の搬送や医療機器の設置、開設許可申請手続きなどの準備を病院職員全体で取り組んでいきます。

また、移転準備に伴い外来診療の一時中断など、患者のみなさまにもご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

移転後、これらの準備の甲斐があったと思えるような病院になるよう、一丸となって頑張っております。

このたびの引き渡しで、建物の外観や内部の様子をみなさんにお知らせできるようになりましたので、ご紹介いたします。





# 兵庫青野原病院 診察・検査担当表

## 診療担当表

平成27年6月～

診療科		月	火	水	木	金	土	日	
内科	午前	1診	寺尾	中山*	義富*	義富*	中山*		
		2診	義富	石田(純)	松山	中原	石田(純)		
		3診		中原					
	午後	義富*	中山*	義富*	義富*				
外科	1診	平井 <sub>二</sub>	平井 <sub>二</sub>	栗栖*	平井 <sub>二</sub>	栗栖*			
	2診	植田							
リハビリテーション科		平井 <sub>二</sub>	平井 <sub>二</sub>	栗栖	平井 <sub>二</sub>	栗栖			
整形外科			平井和 (不定期)	平井和 (不定期)			藤岡 (第2・4週)	西村◇ (月2回) 山本◇ (不定期)	
緩和ケア科			梅木*						
小児科	入院患者様対象	水野藤村	水野	水野運崎 浅井(隔週)	山下瑞木 (交替制)	幸道新田 (交替制)			
小児外科					竹内				
皮膚科				加藤(毎月1回) 益田(毎月1回) 荒川(毎月1回)		竹中 (毎月第4週)			
耳鼻いんこう科				吉本					
歯科		古土井					明石		
専門外来	心身症外来					郷間◇			
	呼吸器・血管外科		平井 <sub>二</sub> *		平井 <sub>二</sub> *				
	大腸外来				梅木*				
	胆膵・胃外来			栗栖*		栗栖*			

診療受付は平日の午前8:30～午前11:30です。

※印の外来診療は予約診療です。予約を取り、予約票をお持ち下さい。ただし、初診・急病の場合は予約なしでも、診察を行っています。

◇印の外来診療は予約患者様のみの診察となります。(初診の方の診察は行っていません)

診療担当医が都合により変更となる場合がありますが、ご了承下さい。

患者様の状態により、診察の順番が前後する場合がありますがご了承下さい。

整形外科診察日には、リハビリテーション科の診察は休診となりますが、リハビリテーション科患者様の診察も行います。

## 検査担当表

検査内容	月	火	水	木	金
胃カメラ(午前)	栗栖	梅木	梅木	小坂	梅木
大腸ファイバー(午後)		梅木	梅木	小坂	梅木
胆膵(ERCP)(午後)			栗栖		
気管支ファイバー(午後)					義富
胃透視・注腸透視(午前)	診療放射線技師				
腹部エコー(午前)	臨床検査技師				
頸部エコー(午前11:00～)	臨床検査技師				
心エコー(午前9:00～)	検査科		・石田(純) ・大阪医療センター医師(2ヶ月に1回)	・大阪医療センター医師(2ヶ月に1回)	

※検査はすべて予約診療です。